

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		市選挙管理委員会事務局
	07	97	97	99	99	

政策
公正・円滑な選挙の執行管理

政策の内容

投票環境の向上に取り組むとともに、研修等による職員の専門知識の維持向上を図り、任期満了に伴う選挙はもとより突発的な選挙にも対応できる体制を構築し、公正・円滑な選挙を執行します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
地域への愛着	あなたは、暮らしている地域に対する愛着や誇りを持っていますか。	3.36	3.35				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

現状:

- ・参議院議員通常選挙を2025年7月20日に、衆議院議員総選挙を2026年2月8日に執行した。
- ・明るい選挙啓発ポスターコンクール、同優秀作品巡回展示会、出前講座等などの選挙啓発事業に取り組んでいる。

課題:

- ・指定都市連合会の各種会議に参加し、各都市の情報収集に努め、本市の選挙事務の改善・見直しに努める必要がある。
- ・適正に各種選挙人名簿の調製等を行うため、システムを適切に保守・運用していく必要がある。
- ・若年層への選挙啓発の推進に向けて、SNSを積極的に活用した情報発信に努める必要がある。
- ・主権者教育の支援を図るため、教育委員会や学校に対し、選挙啓発事業の積極的な活用を呼びかける必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	524,895				
決算	486,046				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	6.7				
会計年度任用職員	1.2				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
衆議院議員選挙 投票及び開票事 業	公職選挙法に規定された衆議院議員の選挙を執行するため、選挙管理委員会の開催、選挙人名簿の調製、選挙運動用ポスター掲示場の設営等を行い、円滑に公正な選挙が行われるようにする。	207,785
		172,130
衆議院議員選挙 投票及び開票事 業デジタル運営 経費	公職選挙法に規定された衆議院議員の選挙を執行するため、使用するシステムの設定作業や機器の賃貸借等を行い、円滑に公正な選挙が行われるようにする。	35,417
		32,621
参議院議員選挙 投票及び開票事 業	公職選挙法に規定された参議院議員の選挙を執行するため、選挙管理委員会の開催、選挙人名簿の調製、選挙運動用ポスター掲示場の設営等を行い、円滑に公正な選挙が行われるようにする。	142,198
		142,192
参議院議員選挙 投票及び開票事 業デジタル運営 経費	公職選挙法に規定された参議院議員の選挙を執行するため、使用するシステムの設定作業や機器の賃貸借等を行い、円滑に公正な選挙が行われるようにする。	20,629
		20,627
選挙人名簿作成 事業	公職選挙法の規定に基づき、永久備え付けの名簿である選挙人名簿及び在外選挙人の申請に基づく在外選挙人名簿を調製、保管する。また、検察審査会審査員及び裁判員候補者の選定等の事務を行う。	343
		212
明るい選挙推進 事業	選挙が公明かつ適正に行われるため、選挙人に対して政治意識の向上等に関する諸事業を行い、選挙に関する事項を周知する。	1,759
		1,502
選挙デジタル運 営経費	選挙の民主化と政治的中立性を期し、選挙の公正かつ適正な執行を確保するために必要なシステムの維持管理等を行う。	116,764
		116,762

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
中学校等への選 挙資材貸出率 (%)	中学校等への選挙資材 貸出事業 貸出校数/学 校数	学校の生徒会長選挙、模擬投票の実施にあたり選挙で実際に使用する投票箱等の選挙資材を貸し出すことで、中学校等における主権者教育を支援し、若年層の投票率向上を図る。	目標値	-	50	50	50	50	50
			実績値	57	55				
			達成率	-	110%				
新任書記研修開 催回数(回)	新任書記研修を開催し た回数	職員の専門知識の維持向上を図る。	目標値	-	1	1	1	1	1
			実績値	1	1				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
若年層の投票率 (%)	当該年度に執行された選挙(当日有権者数が最も多いもの)における若年層の投票者数/若年層の当日有権者数 ※若年層(29歳以下) ※市役所投票所	若年層の投票率の推移を評価する。	目標値	-	38.00	38.20	38.40	38.60	38.80
			実績値	37.80	49.44				
			達成率	-	130%				
選挙の管理執行上問題となった 案件数(件)	当該年度に執行された全ての選挙における選挙の管理執行上問題となった案件の数	公正・円滑な選挙の執行を評価する。	目標値	-	0	0	0	0	0
			実績値	0	1				
			達成率	-	0%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
選挙の投票率(%)		当該年度に執行された選挙(当日有権者数が最も多いもの)の投票率 ※目標値は同一選挙で前回を超えること。達成率は投票率(今回)/投票率(前回)	実績値	衆院選 57.13	参議選 62.40					同一選挙で前回を超えること
			達成率	99.7%	112.0%					
選挙の効力に関する異議の 申出等(件)		異議の申出、審査の申立て等の数	実績値	0	0					0
			達成率	100%	100%					
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

—

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
衆議院議員選挙投票及び開票事業	衆議院議員選挙を公正かつ円滑に執行するため、選挙管理委員会会議の開催、選挙人名簿の調製、選挙運動用ポスター掲示場の設営等を実施した。	選挙人の投票環境向上のための投票所入場整理券と期日前投票宣誓書の一体型の導入を実施した。引き続き、衆議院議員選挙の公正かつ円滑な執行を確保するために必要となる公職選挙法等の関係法令を遵守した確実な事務の履行に努める。
衆議院議員選挙投票及び開票事業デジタル運営経費	衆議院議員選挙を公正かつ円滑に執行するため、必要なシステムの環境設定作業や事務機器の調達(賃貸借)を実施した。	衆議院議員選挙の公正かつ円滑な執行を確保するために必要となるシステムの環境設定や事務機器の調達に努める。
参議院議員選挙投票及び開票事業	参議院議員選挙を公正かつ円滑に執行するため、選挙管理委員会会議の開催、選挙人名簿の調製、選挙運動用ポスター掲示場の設営等を実施した。	視覚に障害(弱視)のある選挙人の投票環境向上のための自筆用補助具の導入を実施した。引き続き、参議院議員選挙の公正かつ円滑な執行を確保するために必要となる公職選挙法等の関係法令を遵守した確実な事務の履行に努める。
参議院議員選挙投票及び開票事業デジタル運営経費	参議院議員選挙を公正かつ円滑に執行するため、必要なシステムの環境設定作業や事務機器の調達(賃貸借)を実施した。	参議院議員選挙の公正かつ円滑な執行を確保するために必要となるシステムの環境設定や事務機器の調達に努める。
選挙人名簿作成事業	公職選挙法等の関係法令に基づき、選挙人名簿及び在外選挙人名簿の調製並びに裁判員候補者・検察審査員候補者の各予定者の選定を実施した。	選挙の公正かつ円滑な執行を確保するために必要となる公職選挙法等の関係法令を遵守し、確実な事務の履行に努める。
明るい選挙推進事業	若年層に対する主権者教育の推進を図るため、小学生・中学生・高校生を対象に出前講座、模擬投票等の実施及び常時啓発事業や明るい選挙推進協議会の活動や選挙に関する情報等をSNSにより積極的に発信し、選挙制度の周知を実施した。	市明るい選挙推進協議会に若者(高校生から29歳まで)を対象とした選挙啓発サポーターを新設し、当該サポーターとともに選挙時の街頭啓発等を実施した。引き続き当該サポーター等の協力を得ながら、若年層の投票率向上に努める。
選挙デジタル運営経費	選挙人名簿管理システム及び選挙事務従事者管理システム等を管理する共同利用サーバーシステムの運用保守並びに地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づく対応を実施した。	選挙の公正かつ円滑な執行を確保するために必要となるシステムの維持管理に努める。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否
----------	---

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
(若年層の投票率(%))の指標名称文言修正等) 各年度において複数の選挙を執行した場合、指標の対象となる選挙が不明瞭となるため、実施規模が最も大きい選挙を特定できる記載とするとともに、「長期成果(アウトカム)指標」における指標である「選挙の投票率(%)」との類似性からこれの修正と揃える修正をするもの。 (選挙の効力に関する異議の申出等(件))の指標名称文言修正等) 各年度において複数の選挙を執行した場合、指標の対象となる選挙が不明瞭となること、目標値を0で設定している本指標の性格として、有無を重要視すべきものであることから、対象の選挙を特定せず、「当該年度に執行した全ての選挙」へ修正するもの。	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

・衆議院議員選挙(投票及び開票事業・投票及び開票事業デジタル運営経費)にあつては、投票所入場整理券と期日前投票宣誓書の一体型を導入し、選挙人の投票環境の向上に一定の評価を受けた。一方、期日前投票所における投票用紙の二重交付という重大なミスが発生したことから、指標の目標値達成には至らなかった。引き続き、各種選挙の執行に関し、その時々課題問題点を適確に捉え、改善すべきものは早急に見直しを検討するなど、選挙の公正かつ円滑な執行の確保に努める。 ・参議院議員選挙(投票及び開票事業・投票及び開票事業デジタル運営経費)にあつては、自筆用補助具の導入により視覚に障害(弱視)のある選挙人に対する投票環境の向上に一定の評価を受けたほか、選挙の管理執行上の問題となる重大なミスも発生しなかったことから、指標の進捗はおおむね順調であった。引き続き各種選挙の執行に関し、その時々課題問題点を適確に捉え、改善すべきものは早急に見直しを検討するなど、選挙の公正かつ円滑な執行の確保に努める。 ・明るい選挙推進事業にあつては、学校の生徒会長選挙、模擬投票の実施にあたり選挙で実際に使用する投票箱等の選挙資材の貸出の件数も目標値を上回っていることに加え、若年層の投票率も目標値を上回ったことから、指標の進捗はおおむね順調であった。引き続き喫緊の課題である若年層の投票率向上に向け、選挙啓発サポーター等の協力を得ながら、効果的な啓発活動に努める。 ・その他の事業(選挙人名簿作成事業・選挙デジタル運営経費)にあつては、公職選挙法等の関係法令に違反した事案などの事務ミスはなく、おおむね順調であった。引き続き確実な事務の履行に努める。
